

「あすか」 OPERATION REPORT Rev.5 Ver 3.1

2000 年 03 月 28 日 Y+ 2593 KSC 当番: T. Murakami and N. Anabuki

SS433

	PASS 1	PASS 2	PASS 3	PASS 4	PASS 5
Pass No.	000328-1238			000328-1548	
Operation	X-REP OP/OG-13 WRT TCU-MEM OP-START	(HALUKA)	(YOHKOH)	X-REP SBR-A-RNG CPU2/3-STOP CPU2/3-RST GIS-MEM RNG-OFF	(YOHKOH)
Target	SS433			SS433	
AOS(UT)	18:49:47			23:49:47	
LOS(UT)	19:01:13			00:01:30	
Max-El	21.76°			56.49°	
Time	18:55:08			23:54:48	
Rep-band(stat.)	X (Complete)	()	()	X (Complete)	()
Rep-start	18:51:19			23:50:19	
DP-mode	OBS/TCU/OBS			OBS	
ACS-mode	Normal Pointing			Normal Pointing	
SUN-pos θ_s/ϕ_s				10.93° / 20.10°	
Attitude	$\begin{bmatrix} 287.77055^\circ \\ 85.10381^\circ \\ 6.24373^\circ \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} \\ \\ \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} \\ \\ \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} 287.772^\circ \\ 85.1050^\circ \\ 6.2454^\circ \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} \\ \\ \end{bmatrix}$
OP-start(CE)	18:59:11 (00h)	()	()	Cont (1Dh)	()
GIS HAM ERR					
ACS ERR					
SIS-mode	FN/FN 1111/3333			FN/FN 1111/3333	
S0/1-TECT	-34.94/ - 35.01°C			-36.86/ - 36.42°C	
S0/1-CCDT	-60.78/ - 60.50°C			-61.01/ - 60.73°C	
GIS-mode	PH(10-8-8-5-0)			PH(10-8-8-5-0)	
GIS LD Hit	20.9/21.5 c s ⁻¹			26.8/27.4 c s ⁻¹	

P	X	Y	R	S	Pos	MErr	HV_HL	Gain	RT-L	RT-U	Temp	RBMT	CalPk	CalCnt	CalTim	RT	Pk
10	8	8	5	0	FLF	0	3/4	48	159	218	13.6	13.6	374.42	554	14416	183.86	
Pass: 000328-1238							3/4	40	159	218	7.6		402.88	482	14416	180.26	

SIS Mode Changes: SS433 ICCD(1111/3333) FN/FN, LVL ON(0.70 keV), ADR OFF

GIS Mode Changes: SS433 PH(10-8-8-5-0)

Battery Condition (min/max)

BAT_V-A	BAT_V-B	BAT_I-A	BAT_I-B	BAT_T-A	BAT_T-B
18.30/23.30	18.40/23.30	-4.81/4.75	-6.28/4.78	4.55/8.74	4.55/8.46

Comment: 本日の運用:

The counting rates of SS433 (PI: N.Kawai) with SIS0/GIS2 were 2.1 cts/s and 1.7 cts/s respectively. Intensities of SS433 were suddenly decreased. SS433 is in eclipse!!

○ 2 path しかありませんでした。ただし風は台風並の 20m/s はあるようです。先日、KSC QL では PB-data の DL が出来ないことが分かりましたが（藤本くんの努力にもかかわらず）まだ出来ません。今日は一転して寒い朝となりました。東京が 19 度なのに、ここは 14 度。宮崎や熊本では桜が開花したのに、鹿児島はまだです（桜ばかり書く村上）。

○ 先日の Safe Hold の原因について、さしつかえない範囲で NEC による解析結果の抜粋をそえます。今回セーフホールドに陥ったのは「制御ロジック上の問題に起因する」と言えます。制御の精粗の切り替わり付近で少々精粗がバタつく現象があります（詳しくは 23 日の KSC 報告を参照下さい 村上）。これ自体はわかっていた、とはいえ、これまでもこの状態で問題なかったのに今何故これが問題になるのか？との疑問が生じる。これに関しては、ホイールの摩擦が大きくなっていると考えるのが自然です。確かに、MW-A と B は他の 2 つに比して若干摩擦が大きめです。定量評価がもう少し必要ですが、ホ

イールが異常であるとは言えず、この程度の摩擦トルクの増加は許容すべき範囲と思います。本来、捕捉の途中にバタつきで精の状態が実現するものなら、異常の判定基準は精でも 200rpm としておくべきと思われます。今後の処置ですが、当面はそのままとし、次回発生の際に、ロジックの書き直しを行いたいと思います (NEC 前田さんより)。

○今日の 4pass は QL 中に日付が変わるので、timset による時刻付けがうまくいかないという以前の教訓 (引き継ぎノート P147 参照) を生かして、real data として日付がまたいでいない 1pass のものを手動で設定したにも関わらず、時刻づけを失敗しました。日付をまたぐ運用がどの程度の割合で存在するのか単純には数えられませんが、前回の引き継ぎ (98/09/02) から今日 (00/03/29) の間に一回はあったのではないかと思います。その時の下位ビットの人、どうやって回避したかを教えてください。●今日は天気が良いのでランチャーの透け透け階段を登ろうかなと計画していましたが、風速 20m に負けました。その代わりに、20m アンテナ反転を間近で見ることが出来ました。山から吹き上げてくる強風をものともしないアンテナに感心しつつ、その跳ね返りの風を直撃してよろけてしまいました。対風速 20m の強風、2 連敗。。。 (穴吹)